

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

| 協議会名             | ①事業の結果概要   | 協議会における事業評価結果     |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考 |
|------------------|--|-------------------|--|--|----|
|                  |  | ②事業<br>実施の<br>適切性 | ③計画策定に向けた方針<br>又は事業の今後の改善点   | 評価結果   |    |
| 大牟田市地域公共交通活性化協議会 | <p>【補助対象事業名】大牟田市地域公共交通網形成計画策定業務<br/>【実施時期】平成29年度<br/>【事業内容】<br/>・大牟田市及び周辺自治体における現況調査<br/>・アンケート、ヒアリング調査<br/>・周辺自治体も含めた現況の公共交通に関する課題抽出・整理<br/>・公共交通の確保及び将来の維持に関する検討<br/>・協議会開催<br/>【結果概要】<br/>・人口分布、高齢化率、他のアンケート調査等の既存資料、各種公共交通に関する運行状況を収集・整理し、取り巻く環境を把握した。<br/>・市民、公共交通利用者、高校生、来訪者に対してアンケート調査を実施し、移動実態や市民及び利用者のニーズを把握した。<br/>・特に流入入が多い荒尾市について、共同して調査を行い、両市間移動を支える必要な施策について検討した。<br/>・調査結果を踏まえ、持続可能な公共交通網の確保に向けた方針、目標、事業を設定し、計画案を作成した。今後計画策定に向け、取りまとめを行う予定。<br/>・これまでに協議会3回、分科会3回、荒尾市との合同協議会1回を開催。今後協議会及び合同協議会を各1回開催予定。</p> | A                 | <p>公共交通を取り巻く現状及び課題に対して、地域公共交通網の形成に向けた基本方針、目的、目的を達成するための事業を設定。<br/>【基本方針】<br/>(1) 市民生活を支える公共交通の維持・確保<br/>(2) 周辺市町と連携した公共交通の維持・確保<br/>(3) 利用促進策・利用機会創出策の推進<br/>【目標】<br/>(1) 市民の日常生活における移動しやすい環境の実現(市内中心部と各地域を結ぶ区間)<br/>(2) 市民の日常生活における移動しやすい環境の実現(実内中心部)<br/>(3) 観光等広域移動における移動しやすい環境の実現<br/>(4) 関係者と一丸となった取組みによる公共交通の持続可能性の向上(利用促進等の実現)<br/>【事業】<br/>(短期的な視点)<br/>計画対象期間内は、現状の公共交通網を維持しつつ、足りない部分を補充するとともに、課題がある部分は改善し、将来に向けた市内外の移動への対応として事業を展開。<br/>(長期的な視点)<br/>計画対象期間以降は、都市計画マスタープランや立地適正化計画で示す将来都市像にあわせた公共交通の構築を目指す。<br/>(1) 市内路線バスの維持確保<br/>(2) 観光施設へアクセスする路線の確保(施設アクセス)<br/>(3) 観光施設へアクセスする路線の確保(広域周遊)<br/>(4) 公共交通空白地域の解消に向けた検討<br/>(5) 交通手段間の連携の検討<br/>(6) 付帯環境の改善<br/>(7) わかりやすい中心部路線の検討<br/>(8) 地域間路線バスの維持確保<br/>(9) 鉄道とバスの乗継利便性の向上<br/>(10) 利用促進に向けた活動実施や情報提供の充実</p> | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。<br/>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 柳川市地域公共交通協議会     | <p>【事業内容】<br/>・地域特性と公共交通の現状の把握<br/>・柳川市の将来像に対する地域公共交通の役割の整理<br/>・市民の公共交通の利用実態やニーズの把握<br/>・地域公共交通の問題点・課題の整理<br/>・公共交通のあり方と基本方針の設定<br/>・目標達成に向けた施策の設定<br/>【結果概要】<br/>・基礎データの整理、現地調査等により公共交通の状況を整理した。<br/>・市民アンケート調査、利用者アンケート調査、聞き取り調査等によりニーズを把握することができた。<br/>・柳川市における地域公共交通の目指す将来像の実現に向けた基本方針と目標、実現に向けた施策について検討し、公共交通会議に諮るための計画案を作成した。<br/>・今後、関係者との協議、合意形成を経て、協議会での検討を行い地域公共交通網形成計画を策定する。</p>   | A                 | <p>・基本方針として、以下の4つを基本方針として定める。<br/>①鉄道を軸とした市内外の円滑な移動を支える公共交通ネットワーク<br/>②買物や通院、健康づくり、文化活動などを支える公共交通ネットワーク<br/>③観光客の円滑な移動を確保<br/>④持続可能な公共交通<br/>また、重点ターゲットとして、高齢者、学生、自家用車での移動が難しい人の3つを定める。これらや公共交通ネットワークの将来イメージなどを踏まえて目標の設定を行い、それを達成するための施策展開を行っていく。<br/>・市が運行するコミュニティバスについては、再編でルートの見直し等を行うことにより利便性の向上を図る。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。<br/>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 飯塚市地域公共交通協議会     | <p>飯塚市の上位関連計画の整理を行い、市民アンケート、高校生アンケート及び公共交通事業所ヒアリングなどの各種意向調査の結果と、第1次計画の進捗状況を踏まえ、鉄道や駅、民間バス路線等の公共交通全般に渡る視点を持った、平成30年度から5年間の「第2次飯塚市地域公共交通網形成計画」を策定した。</p>  | A                 | <p>・2017年に策定した「第2次飯塚市総合計画」及び「飯塚市立地適正化計画」との整合性を図ること。<br/>・広域交通の利便性の向上やまちづくりと公共交通の一体的な取り組みを推進するといった項目を盛り込むこと。<br/>・鉄道や民間バス路線と市が運行するコミュニティ交通の効果的・効率的な連携について検討を行うこと。<br/>・鉄道や駅、民間バス路線等の公共交通全般に係る総合的かつ持続安定的な公共交通体系の構築を図ること。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。<br/>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |

| 協議会名              | ①事業の結果概要  | 協議会における事業評価結果 |   | 地方運輸局等における二次評価結果  | 備考 |
|-------------------|---|---------------|---|---|----|
|                   |   | ②事業実施の適切性     | ③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 遠賀町地域公共交通協議会      | <ul style="list-style-type: none"> <li>遠賀町内の公共交通機関を洗い出し、担うべき役割分担の整理を行った。</li> <li>住民の通勤、通学、買い物、通院の状況についてアンケート調査を実施し、意向を把握した。</li> <li>高齢化への対応、公共交通利用促進、老朽化車両の更新などが課題として浮かび上がった。</li> <li>4つの基本方針、9つの施策をまとめた。</li> </ul>   | A             | <p>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>明らかとなった課題に対応していくべく、計画策定に向け、以下の4つの基本方針をまとめた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通勤・通学環境を高める遠賀川駅の拠点性の強化</li> <li>2. 町民の日常生活における外出先へのアクセスを確保する公共交通</li> <li>3. わかりやすく、利用しやすいコミュニティバス</li> <li>4. 安全・安心して利用できる持続可能な公共交通</li> </ol> <p>これを踏まえて、計画に基づく9つの施策を実施していく。</p> <p>平成29年8月までに計画を策定し、それ以降、順次計画に基づく事業を実施していく。</p> | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 直方市公共交通協議会        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1.現状把握と課題の整理<br/>平成28年度より策定中である立地適正化計画のアンケートを活用し、地域住民及び地域公共交通の現状を把握し、課題を整理する。</li> <li>2.公共交通のあり方検討と目標設定<br/>幹線を担う現在の市内公共交通を活用し、フィーダー機能との結節点を強化し、目標を設定する。</li> <li>3.目標達成に向けた取り組みの検討<br/>設定された目標値へ地域と一体となり取り組む内容の検討。</li> <li>4.地域公共交通網形成計画案の作成<br/>1.2.3の項目を協議会で検討し地域公共交通網形成計画案を作成する。</li> <li>5.協議会開催<br/>第1回を11月に実施し、委員へ現状把握と課題の整理を実施し、広く意見を集約する。<br/>第2回を2月に実施し、幹線と支線の役割を明確化し、必要とされる幹線を位置づける。<br/>第3回を3月に実施し、将来あるべき公共交通の姿を検討し、直方市地域公共交通網形成計画案を策定する。</li> </ol> | A             | <p>○補助対象事業名<br/>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>○事業内容<br/>少子高齢化が進展する社会において将来にわたり持続可能な交通体系を構築するため、現状の課題を整理し、幹線と支線の効率化を図り、基本方針、目標設定を行い、目標達成に向けた事業の検討を行う。</p> <p>○実施時期等<br/>平成29年度中に地域公共交通網形成計画案を策定し、住民等の意見を集約した後、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定する。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| みやま市地域公共交通活性化協議会  | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケート</li> <li>福祉バス利用者調査</li> <li>路線バス利用者調査</li> <li>主要施設管理者アンケート</li> <li>主要施設利用者聞き取り調査</li> <li>高校1年生アンケート</li> <li>駅利用者アクセス特性調査</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <p>市民アンケートは4,000人に対し、市民の日常的な外出・移動の状況や現在の公共交通に対する評価などを調査。回収率52.6%。通勤者の約9割、買物では約8割、通院では約7割が自家用車での移動。また、公共交通サービスに対しては4割～5割の人が低評価という回答結果となった。</p> <p>これらのことや、その他の調査結果も踏まえ、課題、基本方針などを協議会で検討し、地域公共交通網形成計画として取りまとめる。</p>  | A             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業名<br/>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</li> <li>2. 事業内容<br/>地域公共交通網形成計画策定</li> <li>3. 実施時期<br/>平成30年3月</li> <li>4. 計画策定の方針<br/>市民の移動特性からの課題や公共交通に対する評価からの課題などを十分踏まえ、4つの基本方針、目標、目標を達成するための施策、推進体制など盛り込んだ計画策定を行う。</li> </ol> <p>なお、平成30年度確保維持事業(域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 宍道市地域公共交通活性化推進協議会 | <p>住民アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宍道市内全域を対象に、地域公共交通に関する住民アンケートを実施。</li> <li>アンケートでは、公共交通の利用状況、移動の目的地、自由意見などを回答いただいた。</li> <li>配布戸数3000戸で、対象世帯の18歳以上に方全員(5,588通)に配布</li> <li>回答数は、1,994通 35.7%</li> <li>(世帯ベース1,170通 39.0%)</li> </ul> <p>観光事業者アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の観光関連事業116社を対象にアンケートを実施。</li> <li>対象事業者は、宿泊・飲食・土産等業者で、送迎の有無、観光に便利な交通について質問した</li> <li>回答数は、38社 32.7%</li> </ul>  | A             | <p>アンケート結果をもとに、持続可能な地域公共交通を構築できるよう検討する。</p> <p>路線バスについては、路線の見直しやスクール混乗など、路線バス事業者の経費削減に向けた取り組みを検討する。また、市民だけでなく観光客等向けの取組についても検討していく。</p> <p>航路については、経費削減に向けた取り組みのほか、老朽化によるリプレイスなども視野に入れ検討していく。</p> <p>なお、翌年度(30年度)には再編実施計画を策定する予定としているので、具体的な事業実施は再編実施計画で検討することとしている。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |

| 協議会名               | ①事業の結果概要  | 協議会における事業評価結果 |  | 地方運輸局等における二次評価結果  | 備考 |
|--------------------|---|---------------|--|---|----|
|                    |   | ②事業実施の適切性     | ③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点   | 評価結果  |    |
| 新上五島町交通ネットワーク促進協議会 | <p>【事業内容】</p> <p>1) 既存資料の収集と整理<br/>2) 町民の利用実態やニーズの把握<br/>3) 地域公共交通の問題点・課題の整理<br/>4) 「新上五島町地域公共交通網形成計画」の作成</p> <p>【結果概要】</p> <p>1) 「新上五島町交通体系再編計画」(H20-29)、「第2期新上五島町地域公共交通総合連携計画」(H26-29)の事業実施状況やその目標達成状況、課題の解決状況などを整理し、計画に反映する基礎データを整理した。また、役場から半径10km圏内外で人口減少度合いに差があること、バス路線の利用需要や物流業者の輸送効率にも差があることが分かった。</p> <p>2) 地域住民の公共交通(航路、バス、タクシー)の必要性や多様な存在意義、10年間における郊外部を中心とした交通弱者の規模と外出頻度の縮小状況、バスにおける貨客混載の実現可能性等が分かった。</p> <p>3) まちづくり戦略①安心で魅力あり「定住のしま」、②にぎわいを創る「交流のしま」、③地域資源を活かした「産業のしま」を踏まえ、各公共交通機関の役割等を定めた。</p> <p>4) 1-3をもとに計画(案)をとりまとめた</p> | A             | <p>「新上五島町交通体系再編計画」(再編計画:H20-29)の策定以降、平成23年度に再編計画の実施計画の位置づけで「第1期新上五島町地域公共交通総合連携計画」(H23-25)を平成25年度には「第2期新上五島町地域公共交通総合連携計画」(H26-29)を策定し、その目標達成状況などを踏まえつつ、昨今の町の課題である人口減少対策、ならびに公共交通の担い手不足、今後の頭が島教会の世界遺産登録を踏まえ、計画の基本方針(草案)を検討した。</p> <p>【基本理念】(草案)</p> <p>○町民が安心して教育や医療のサービスを受けられること、また、多くの町外来訪客を迎え入れ、しまのにぎわいを創り出し定住を支える公共交通サービスの提供を目指す</p> <p>【基本方針】(草案)</p> <p>①島内の一体的な発展と自立を支える持続可能な島内公共交通網の再構築<br/>②島外の周辺地域との交通ネットワーク形成<br/>③利便性と効率性のバランスがとれ、新たな需要獲得にもつながる公共交通サービスの提供<br/>④町民一人ひとりの主体的な利用促進と需要創出による地域公共交通の持続的運行</p> | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【市民アンケート調査】</p> <p>市内に居住する19歳以上の方2,000人を対象に、移動実態を調査した。</p> <p>高齢者単身世帯の割合が高い地域が見られる中、高齢者の買い物や娯楽・イベント参加などの活動的な移動が多く見られた。一方、若年層については、多様な移動が見られたものの、自家用車への依存度が高く、公共交通利用への転換可能性は低いと思われる。</p>  | A             | <p>買い物や娯楽・イベント参加など、高齢者の活発な移動を支援するための移動手段を確保することで、交流による地域活性化や、健康増進に向けた活動を促進する。</p> <p>また、高齢者単身世帯の増加や自動車運転免許の自主返納意向の高まりも踏まえ、自家用車に頼らず自由に移動ができる環境を整える。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【高校生アンケート調査】</p> <p>市内及び隣接市内の全高校・全生徒を対象に移動実態を調査した。</p> <p>鉄道を利用した広域的な通学実態が見られ、休日においても市域を越えた移動が多く見られたものの、路線バスの利用は低迷していた。</p>  | A             | <p>通学においては、鉄道駅と市内各高校のアクセスを強化することで、雨天時でも自転車に頼らずに移動ができる環境を整えるとともに、休日においても、移動ニーズに合わせた路線を整備することで、利用者を増やすことを目指す。</p>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【民生委員アンケート調査】</p> <p>民生委員に対し、市内各地区の交通弱者の状況や移動に関する実態を調査した。</p> <p>移動のニーズはあるが既存の公共交通網ではアクセスしにくい箇所などが分かった。</p>  | A             | <p>地区ごとの移動ニーズを踏まえた路線の編成や便数の確保など、それぞれの地区に合わせた細やかな対応を行う。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【路線バス利用者聞き取り調査】</p> <p>産交バス線の運行する全路線全便に乗り込み、利用者数の集計や利用者への聞き取りにより利用実態を調査した。</p> <p>利用の低迷する路線や非効率な路線が見られた。</p>   | A             | <p>路線バスの運転士が不足する中、多様化する利用者のニーズに対応していくため、利用が低迷する路線をはじめ、移動ニーズに合致していない路線を見直すことで、運行の効率化を図る。</p>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【バス停待合環境調査】</p> <p>市内のバス停の待合環境を調査した。</p> <p>利用の多いバス停ほど概ね上屋が設置されている状況であるが、老朽化が進行しているところもあった。</p>  | A             | <p>バス停上屋などの設置に当たっては、道路の構造を踏まえ、通行の安全を確保する必要があることから、利用状況なども総合的に勘案し、整備方針を検討する。</p>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 荒尾市地域公共交通活性化協議会    | <p>【観光来訪実態調査】</p> <p>市内に観光目的で来訪した方の移動実態やニーズを調査した。</p> <p>観光来訪者は多く見られるが、自家用車で移動がほとんどであった。</p>  | A             | <p>観光来訪者にも利用しやすいよう、鉄道駅を起点とした公共交通網を活用して情報発信を強化するとともに、様々な交通モードを活用し、施設の周遊性を高めることを検討する。</p>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |

| 協議会名                | ①事業の結果概要   | 協議会における事業評価結果 |   | 地方運輸局等における二次評価結果   | 備考 |
|---------------------|--|---------------|---|--|----|
|                     |  | ②事業実施の適切性     | ③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点  | 評価結果   |    |
| 上天草市地域公共交通活性化協議会    | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位計画、都市構造等に関する分析</li> <li>・公共交通に関する現状分析</li> <li>・住民ニーズ調査</li> <li>・公共交通に関する課題、方針整理</li> <li>・上天草市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>・協議会開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施したモニタリング調査における市内主要施設ヒアリング調査(一部市外含む)等により得た、地域公共交通ニーズやトリップデータを活用し、現状把握・分析を実施した。</li> <li>・市民3,000名にアンケート調査を実施し、利用者の意向や地域公共交通に対する認識を把握することができた。</li> <li>・スクールバスを活用した生活交通支援を試験的に行い、結果の分析・整理、今後の発展性について検討を行った。</li> <li>・今後、上記調査結果をもとに協議会を開催し、関係者との協議、合意形成を経て、網形成計画を策定する。</li> </ul>  | A             | <p>上天草市生活交通ネットワーク計画(平成25年2月策定。以後NW計画という。)を引き継ぐ、上天草市の交通政策を総合的に推進するマスタープランとして、計画を策定する。検討においては、上位計画である上天草市第2次総合計画等と連携した基本方針のもとに、スクールバス等の交通資源の有効活用や地域公共交通の利活用の促進策等の具体的な事業を定める。またそれらは、NW計画における乗合バスの統廃合や乗合タクシー等の導入基準を定めた「生活交通導入ガイドライン」を継承しつつ、現況に適したものにアップデートを行う。</p> <p>これらにより、上天草市に適した持続可能な地域公共交通体系を実現する「上天草市地域公共交通網形成計画」を策定する。</p>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>                                  |    |
| 天草市公共交通連携協議会        | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通現状分析</li> <li>・住民ニーズ調査</li> <li>・公共交通に関する課題整理、基本方針検討</li> <li>・天草市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>・協議会支援</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者アンケート調査</li> <li>・産交バスモニタリング調査(ODデータ分析、バス利用者満足度調査結果分析等)</li> <li>・住民アンケート調査(約2,000人の市民アンケートによる公共交通利用状況、公共交通意識調査を実施)</li> <li>・高校生アンケート調査(市内5校の全校生徒を対象に調査、1,755票回収)</li> <li>・路線バス乗込み調査(課題のある路線等4路線に係る平日1日、土日祝1日の全便乗込みアンケート調査を実施し、ODのほか、属性を把握)</li> <li>・月1回の定例会(交通事業者等)における協議</li> <li>・協議会の開催支援(全4回)</li> <li>・天草市地域公共交通網形成計画(案)の策定</li> </ul>                             | A             | <p>・現計画「天草市公共交通連携計画」(H26年度策定)を発展的に継承する本市の公共交通マスタープランとして「天草市地域公共交通網形成計画」(以下「網形成計画」という。)を策定する。</p> <p>・本市においては、陸海空すべての交通モードを有すること、陸上交通において路線バスを中心に、その他交通モードが複数存在し、路線が重複する等非効率な側面が見受けられること等から、陸海空すべての交通モードの役割分担を明確にし、効率的・効果的な持続可能性のある公共交通網を形成するために網形成計画を策定する。</p> <p>・県下最大の面積を有すること、人口減少・高齢化進展が著しいといった本市の状況を踏まえ、交通不便地域対策を推進するために、そして福祉所管部署と連携した移動支援体制を構築するために網形成計画を策定する。</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>                                  |    |
| 南阿蘇鉄道沿線地域公共交通活性化協議会 | <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域特性と公共交通の現状及び地震発生以前の状況の把握(行政・交通事業者の保有資料及びヒアリング等)</li> <li>②住民及び観光客の利用実態及びニーズ把握調査(全世帯住民アンケート、鉄道・バス利用者ヒアリング、観光客ヒアリング、来訪者WEBアンケート、観光事業者ヒアリング)</li> <li>③南阿蘇鉄道及び沿線公共交通網等のあり方の分析</li> <li>④南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画(案)の取りまとめ</li> <li>⑤協議会の開催</li> </ol> <p>【結果概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①道路・鉄道の不通により、公共交通網が大きく変化している状況と、それによる日常生活や観光への影響が明らかになった。</li> <li>②地域住民・観光客ともに、約9割が南鉄の必要性を感じていることがわかった。</li> <li>③まちづくり戦略＝“定住”、“観光”、“防災”の分野毎に、南鉄及び各公共交通機関の役割を定めた。</li> <li>④①～③を基に、計画(案)を取りまとめた。</li> <li>⑤協議会を5回(H29年末時点)開催し、関係者との合意形成を行った。</li> </ol> | A             | <p>熊本地震で甚大な被害を受けた南阿蘇鉄道は、地域住民の生活に必要不可欠な“地域交通の基軸”であると同時に、基幹産業である観光業を支える県内屈指の観光資源。一日も早い全線復旧と、「南鉄を軸とした持続可能な公共交通網の構築」を目指す。</p> <p>地域の総合計画や熊本地震からの復旧・復興計画を基に、“定住”、“観光”、“防災”をまちづくり戦略の3つの柱とし、それぞれに対応する南阿蘇鉄道及び各公共交通機関の役割を定める。</p> <p>また、計画の基本方針を次のとおり定め、各方針に基づく施策を実施する。</p> <p>【計画の基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①南阿蘇鉄道の全線復旧と持続可能な運営の確立</li> <li>②鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築</li> <li>③将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築</li> <li>④定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的作用の強化</li> <li>⑤観光振興と一体となった公共交通網の構築</li> <li>⑥住民・事業者・行政が連携した地域公共交通の利便促進と需要創出</li> </ol> | <p>調査事業としては前例のない長期にわたる計画を策定したものであるが、一定時期の見直しも考慮している点を含め、関係者の苦労が伺える。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |

| 協議会名             | ①事業の結果概要  | 協議会における事業評価結果 |   | 地方運輸局等における二次評価結果  | 備考 |
|------------------|---|---------------|---|---|----|
|                  |   | ②事業実施の適切性     | ③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 大分県地域公共交通活性化協議会  | <p>【調査事業の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通の現状把握、課題整理に向けた調査及び関係者ヒアリング</li> <li>○バス路線の利用状況調査</li> <li>○沿線住民意向調査</li> <li>○国庫補助対象地域間幹線系統を中心とした広域的なバス路線の再編案の検討</li> <li>○再編案に伴う地域全体の影響分析</li> <li>○沿線市町村の交通関連計画・都市計画等との調整</li> <li>○網形成計画のとりまとめ</li> </ul> <p>【調査事業の結果概要】</p> <p>住民アンケート調査、高校生アンケート調査、乗降調査から、各幹線バス系統の時間帯や平日、土日祝日の違い、運行区間、利用者の年齢層などによる、利用頻度の違いが把握できた。</p> <p>これらの調査結果を踏まえ、関係市、事業者と協議を行うことにより、「まちづくり政策」、「観光政策」、「教育政策」などの視点から、市や事業者等と連携して公共交通ネットワークの見直し案を検討している。</p>  | A             | <p>○次回分科会において、計画案審議予定。<br/>○分科会後、協議会において計画案審議予定。</p> <p>【基本方針1】</p> <p>まちづくり、観光、教育政策及び市町の計画と連携した「軸」と「拠点」の設定により住民の円滑な移動を支える公共交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線・準幹線・域内路線による公共交通ネットワーク構築</li> <li>・移動ニーズを考慮した幹線バス路線のルート・ダイヤへの再編</li> <li>・地域の移動を支える域内バス路線の再編</li> <li>・市町計画とまちづくり、教育と連携した拠点化の推進</li> </ul> <p>【基本方針2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モード間の連携強化により圏内外を有機的につなぐ広域交通ネットワークの創出</li> <li>・モード間の乗り継ぎ利便性の向上</li> <li>・地域間路線との乗り継ぎ利便性の向上</li> </ul> <p>【基本方針3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外からの観光ニーズに対応した公共交通利用環境の整備</li> <li>・広域的な観光を支える公共交通ネットワークの構築</li> <li>・来訪者にも分かりやすい情報提供</li> <li>・モード間の乗り継ぎ利便性の向上</li> </ul> <p>【基本方針4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の維持に向けた運行水準の適正化</li> <li>・移動ニーズに即した運行水準の適正化</li> <li>・運行の重複する区間の整理</li> <li>・車両と労働力の運用の効率化</li> </ul> <p>【基本方針5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進</li> <li>・利用者・来訪者に分かりやすい情報提供</li> <li>・新たな公共交通利用者を確保するための利用促進策の実施</li> <li>・すべての人が利用しやすい環境の整備</li> </ul> | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 日田市地域公共交通確保維持協議会 | <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域内の特性や公共交通に関する現状の把握             <ul style="list-style-type: none"> <li>①交通事業者ヒアリング調査、②バス利用者ヒアリング兼バス利用実態調査</li> <li>③生活拠点施設利用者ヒアリング調査、④観光施設関係者ヒアリング調査</li> </ul> </li> <li>2. 地域別住民ニーズ等調査             <ul style="list-style-type: none"> <li>①自治会長・民生委員アンケート調査、②現地合同視察(交通空白地域)</li> <li>③交通不便地域の拠点施設(公民館)利用者ヒアリング調査</li> </ul> </li> <li>3. 日田市地域公共交通網形成計画(案)の取りまとめ             <ul style="list-style-type: none"> <li>①1. 2. の各種調査結果を踏まえた課題整理と対応策の検討</li> <li>②日田市地域公共交通の将来像(方針案)</li> <li>③地域公共交通網形成計画の作成</li> </ul> </li> <li>4. 協議会の開催</li> </ol> <p>【結果概要】</p> <p>上記1. 2. の調査結果から、以下のことがわかった。</p> <p>公共交通の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線の6割が乗り合っていない。(1便当たり2人未満)</li> <li>・1日の乗降が全く無いバス停区間がある。</li> <li>・週3日以上利用する者が特定のバス停区間に存在。</li> <li>・市外・県外からの通勤・通学への配慮が必要。</li> </ul> <p>交通事業者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の悪化を抱え、運転手が減少、担い手の確保が困難。</li> <li>・バス車両の3割が15年以上の車齢だが、車両の更新が困難。</li> <li>・バス事業者は、生活需要だけでなく、新たな需要を強化したい。</li> </ul> <p>住民・利用者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者が困っている中に、交通サービスへの不満の声あり。</li> <li>・路線バスは通院・買い物客が中心で、通学の利用は、JRより少ない。</li> <li>・JRとタクシーは、生活利用と観光利用がある。</li> <li>・市内中心部の主な商業施設の滞在時間は概ね1時間以内。</li> <li>・施設利用者のバス運行ルートやダイヤ改善のニーズがある。</li> <li>・宿泊施設のチェックイン・アウトの時間に合わせたバス運行ルートのニーズがある。</li> </ul> <p>3. 上記1. 2. の調査結果を分析し、課題の整理を行い、3つの方針案を掲げた。</p> <p>今後、計画に記載する事業の検討を行い、目標設定し、計画案をまとめる。</p> <p>4. 平成29年中に協議会を2回開催し、現状と課題を整理し、方針案について協議を行った。今後、計画案案の協議、パブリックコメントにて住民の意見をいただき、3月末を目途に計画案を策定する。</p> | A             | <p>方針①：日常生活のおでかけを支える公共交通ネットワークの構築</p> <p>方針②：効率的で利用しやすい公共交通サービスへの提供</p> <p>方針③：地域協働による公共交通を軸としたまちづくりの推進</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 由布市地域公共交通活性化協議会  | <p>地域内の公共交通に関する現状調査とアンケート調査やバス利用者へのヒアリングをもとに地域住民のニーズ把握を実施。その結果をもとに効率的で持続可能な公共交通体系構築に向けた地域公共交通網計画を策定。</p>  | A             | <p>補助対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>事業内容：地域内の公共交通に関する現状調査、地域住民のニーズ把握、網計画案案とりまとめ、活性化協議会開催</p> <p>実施時期：H29. 8～H30. 3</p> <p>計画策定の方針：住民や来訪者にとって分かりやすく、使いやすい公共交通の実現とニーズに合った効率的な交通体系の実現</p>   | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |

| 協議会名             | ①事業の結果概要  | 協議会における事業評価結果 |  | 地方運輸局等における二次評価結果  | 備考 |
|------------------|---|---------------|--|---|----|
|                  |   | ②事業実施の適切性     | ③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点   | 評価結果  |    |
| 奄美市地域公共交通活性化協議会  | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通利用実態・ニーズ調査</li> <li>②現況調査及び地域の課題整理</li> <li>③奄美市地域公共交通網形成計画(案)のとりまとめ</li> <li>④協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住用町・笠利町全世帯及び名瀬地区1,000世帯に対しアンケート調査を実施し、住民ニーズの把握を行った。</li> <li>・地域住民代表との意見交換会を行うとともに、バス運転手へのアンケート調査を実施し、課題等の把握を行った。</li> <li>・廃止代替路線2路線への乗り込み調査及びバス停におけるヒアリング調査を実施し、利用者ニーズの把握を行った。</li> <li>・既存データ等の収集整理を行うとともに、各種調査結果を踏まえ、地域公共交通が有する課題の整理を行った。</li> <li>・課題等を踏まえ、地域公共交通網形成計画(たたき台)を作成し、協議会で協議を重ねているところであり、平成29年度内に計画(案)を取りまとめる予定である。</li> </ul> | A             | <p>【補助対象事業名】</p> <p>地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】</p> <p>公共交通利用実態調査・ニーズ調査を実施するとともに、地域住民との意見交換等を実施し、本市の地域公共交通が有する課題の整理を行う。</p> <p>課題を踏まえ、将来に向けて持続可能な地域公共交通網を構築するため、「奄美市地域公共交通網形成計画(案)」をとりまとめ、協議会で検討を行う。</p> <p>【実施時期等】</p> <p>平成29年度中に地域公共交通網形成計画(案)を協議会の議論を踏まえとりまとめ、パブリックコメントを行う。</p> <p>【その他】</p> <p>平成30年度には、世界自然遺産登録が見込まれるとともに、奄美にゆかりの深い「西郷どん」がNHK大河ドラマで放映されるなど、注目が高まり、観光客の増加が期待されていることから、空港バスの利便性向上を図る。</p> | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |
| 沖永良部地域公共交通活性化協議会 | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況公共交通実態調査</li> <li>・住民ニーズ把握調査</li> <li>・関係機関等意向調査</li> <li>・基本方針の検討と沖永良部地域公共交通網形成計画(素案)の作成</li> <li>・協議会開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用状況や町民の移動実態について事業者と連携して現況把握及び整理を行った。</li> <li>・関係機関の公共交通に対する要望や意向、現在の課題についてヒアリングを行った。</li> <li>・住民の公共交通に対する要望等についてアンケート調査で把握した。</li> <li>・上記の実態調査結果、アンケート調査結果等を協議会において報告し、委員からの意見や要望を聴取した。</li> <li>・今後は、各種調査結果や協議会で出された意見や要望を取り入れた素案の作成し、協議会で検討する。</li> </ul>   | A             | <p>沖永良部地域公共交通の抱える課題の対応策として、以下の方向性をともに事業を策定していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の日常生活の移動を支える公共交通ネットワークの形成(運行ルート・ダイヤの見直し、通学ダイヤの検討)</li> <li>・住民、来訪者ともに利用しやすい公共交通サービスの強化(航空便との接続を考慮したダイヤ、乗継拠点の整備・待合環境の改善、観光客等に対する情報発信の強化)</li> <li>・住民と共に守り育てる持続可能な公共交通の体制づくり(住民を対象としたモビリティマネジメントの実施、高齢者に対する免許証返納施策)</li> </ul>  | <p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p> |    |